

連携室
だより

理念 赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し
質の高い医療を提供します

- 基本方針**
- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1.患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります | 5.国内外の災害時の医療救護活動に貢献します |
| 2.急性期医療を中心に診察を進めます | 6.職員の教育、研修を充実させます |
| 3.救急医療の充実に努めます | 7.健全経営に留意して、その結果を社会に還元します |
| 4.地域の医療機関等との連携を推進します | |

私たちは患者さまの権利を尊重します



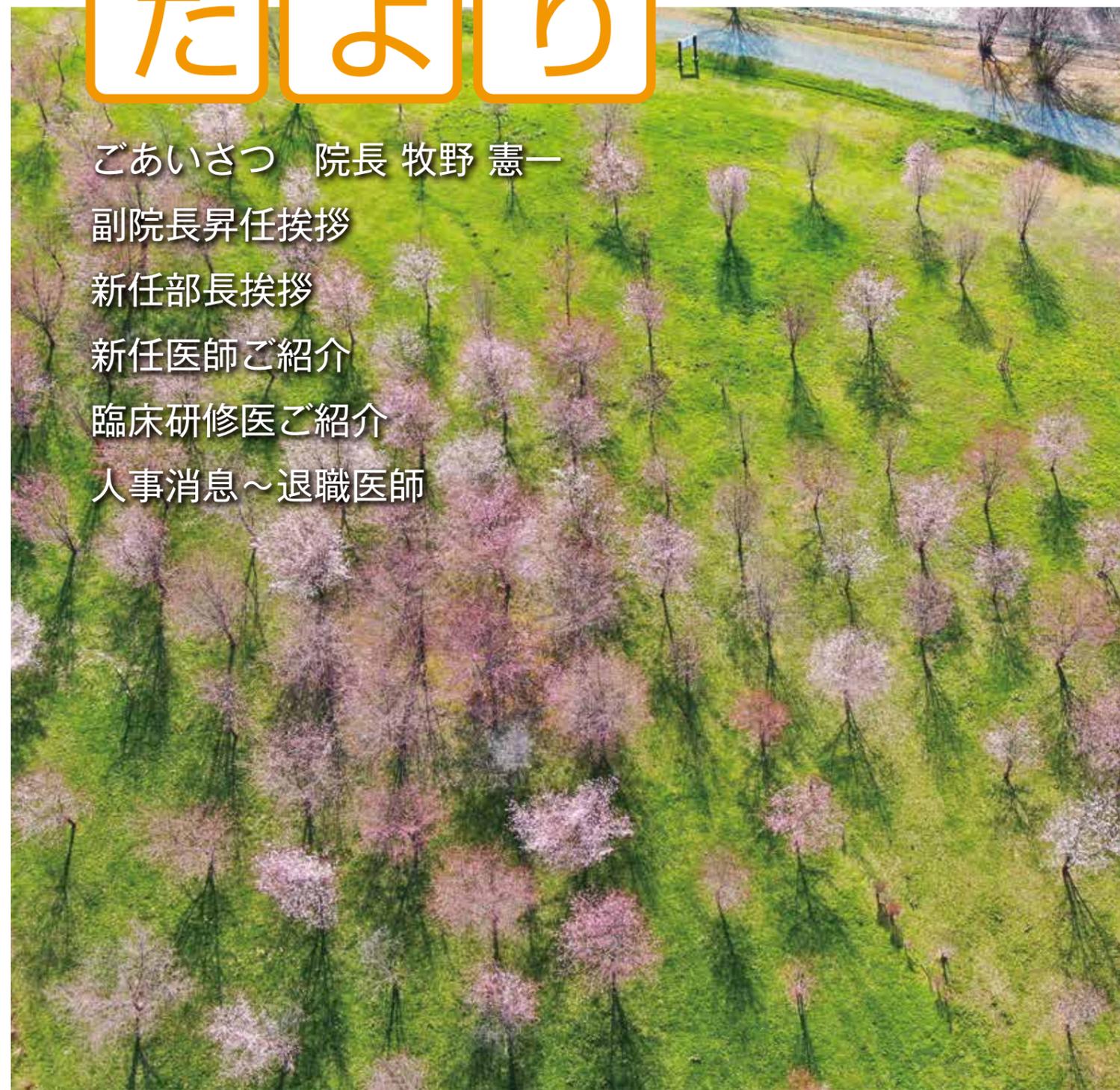
旭川赤十字病院職員行動規範 5つの約束

- 1.私たちは、来院される方と職員に笑顔であいさつをします
- 2.私たちは、初対面の患者さまに、自己紹介をします
- 3.私たちは、電話の最初に、部署と名前を名乗ります
- 4.私たちは、患者さまに診察や説明をしたあとに「何かわからないことやご質問はありませんか?」とお尋ねします
- 5.私たちは、院内で迷われている皆様にお声掛けをし、ご案内します

発行

旭川赤十字病院 地域医療連携室

〒070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目1番1号
tel.(0166)22-8111(代表) fax.(0166)22-8287(直通)
URL <http://www.asahikawa.jrc.or.jp/> Email renkei@asahikawa.jrc.or.jp



ごあいさつ 院長 牧野 憲一
副院長昇任挨拶
新任部長挨拶
新任医師ご紹介
臨床研修医ご紹介
人事消息～退職医師



令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応で幕を開けました。この新しい感染症は社会に大きな影響を与えましたが、医療機関における医療の在り方も大きく変わりました。感染防止の観点から、他人と接点を持たないことが求められたため、病気となっても病院を受診することなく電話やオンラインの手段で診療を受けることが容認されるようになりました。私個人としては、初診の患者さんに直接触れることもなく、検査も行わずに適切な診断と治療が行えるとは思えません。コロナ対応の暫定的な措置とは思いますが、当院では行う予定はありません。

旭川赤十字病院は今回の新型コロナウイルス感染症対応における役割分担において、旭川医科大学病院とともに主に重症の患者さんに対応して来ました。数名の重症患者さんに対して人工呼吸器を使用しての治療等を行いました。未知のウイルスとの戦いであり、スタッフも自分が感染するのではないかとこの恐怖と闘いながら診療を継続してくれました。これらのスタッフには心から感謝したいと思います。また、院内感染も発生することがありませんでした。旭川赤十字病院には感染管理医師の資格を持つ医師が感染管理室長の堀田部長など数名在籍し、感染管理看護師も平岡副院長をはじめとして数名在籍しています。これらの人が、感染管理を日常的に徹底して行っていたおかげで新型コロナウイルス感染症に対しても的確な

対応がとれたと考えております。

地域連携は地域の医療従事者が触れ合い、語り合い、理解しあうところから始まります。その意味で、人と接することが制限されている今の状況は地域連携にとって危機的な状況だと言えます。ただ、地域住民の長い自粛生活のおかげで新型コロナウイルス感染症の患者発生はようやく減ってきたように見えます。巧く行けば、これをお読みになって頂いている頃には、緊急事態宣言が解除され制限も緩和されてきていることでしょう。また、地域の医療従事者の方々とお酒を酌み交わしながら語り合える日が来ることを楽しみにしております。

表紙の写真はドローンから撮影した聖台ダム近くの桜です。早朝の誰もいない時に撮影しました。



副院長昇任挨拶

平素から当院連携医療機関の皆様には大変お世話になり誠にありがとうございます。

私こと令和2年4月1日付けで副院長に就任いたしました。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

世界的に新型コロナウイルス感染が猛威を振るい、日本においても多くの方が感染し亡くなっているという時期でもあることから、日本赤十字社の『苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る』というミッションを今一度肝に銘じて責務に当たる覚悟です。

私は平成16年に外科医師として旭川赤十字病院に着任し、約16年間一般外科(乳腺、消化器、外傷など)を担当してきました。着任当時、当院外科では開腹手術が主流で腹腔鏡手術は軽度炎症の胆嚢摘出術に対して行われていた程度でしたが、現在では技術向上に伴い食道手術はもちろん胃や肝臓、結腸、直腸に至るまでほとんどの消化器手術を腹腔鏡で施行しております。近年、交通事故による外傷の減少から腹部外傷に対する緊急手術は減少していますが、炎症性疾患や腸穿孔などに対する緊急手術は減少していません。平

成21年に日本最大の運行面積である道北ドクターヘリ運用が当院救命救急センターで開始になったこともあり、当院での救急医療に対する重要度はむしろ増大しております。今後も連携医療機関の皆様のご協力のもと高度急性期医療と救急医療の充実に努めてまいります。

私は今後も外科医として診療に携わりますが、医療安全統括責任者として安全管理体制の維持と強化を図り、職員の教育、研修充実に努め地域医療にも貢献して参ります。

皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



旭川赤十字病院 副院長
真名瀬 博人

副院長昇任挨拶

このたび2020年4月1日より旭川赤十字病院副院長を拝命いたしました瀧澤克己と申します。就任にあたりましてご挨拶申し上げます。

私は1990年3月に旭川医科大学を卒業した後、同大学脳神経外科講座に入局し、脳神経外科の臨床に従事して参りました。当院には1996年4月から1998年3月までの2年間と2000年4月から現在まで、通算で22年間勤務しております。2012年4月からは第一部長として脳神経外科を率いる立場となりました。当科は前任の上山博康部長の時代に国内においてもトップの診療実績を築き上げ、全国各地から患者さんが訪れる施設となっており、この時にも責務の重さを痛感いたしました。幸いにも脳外科スタッフ、病棟・外来看護師、多くのコメディカルスタッフの協力のおかげで、地域からの信頼を損なうことなく、変わらずに充実した医療を提供できてきたものと自負しております。

また、2012年4月からは医療安全推進室長として医療安全にも関わってまいりました。医療安全の充実、良質な医療の提供に当たり根幹をなす最重要の課題です。当院の医療安全は日々の取り組みにより文化として醸成してきていますが、私自身も医療安全に関わられたことで、チーム医療、医療対話の重要性等、多くのことを学ぶことができました。

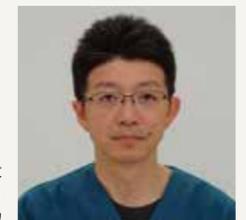
これまでは部門の責任者として基本的には部門の充実を考えて仕事をしてきましたが、これからは病院全体を考えた行動、臨床以外の知識・スキルが求められるものと考えます。副院長就任に際し、院長からは医療情報システム管理、

地域連携、医療安全等の業務担当を仰せつかりました。副院長として行った最初の仕事は、新入職員研修での『病院情報システム』の講義でしたが、下の図はこの際に使ったスライドの一つです。情報システムとは全く関係はなく、この車が留まっているパーキングの番号は何番でしょうかというものです。皆さん、おわかりになるでしょうか？



ここで伝えたいことは、色々な視野で見ることで、同じものでも見え方が異なるということです。今後、副院長としての責務を果たしていくにあたって、今までとは違った視野をもち、地域から信頼される病院として地域とともに発展できるように、微力ではありますが副院長業務に精進したいと思います。ご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

(問題の解答分かりましたか？
分からなかった人は冊子をさかさまに見てくださいね。)



旭川赤十字病院 副院長
瀧澤 克己



糖尿病・内分泌内科 部長
安孫子 亜津子

このたび、令和2年4月から森川秋月先生(前副院長)の後任として、糖尿病・内分泌内科部長を拝命いたしました安孫子と申します。

私は平成4年旭川医科大学卒業で、その後旭川医大の第2内科で糖尿病内科を専門としてまいりました。大学院修了後には、名寄市立総合病院、旭川赤十字病院で勤務し、留学・育休後に平成14年から旭川医科大学に戻り、17年間大学病院で過ごしてきました。その間にたくさんの糖尿病患者さんの診療に関わることができ、また、臨床研究や学生・研修医・スタッフ教育などを経験いたしました。

糖尿病医療は薬剤の進歩により、バリエーション豊かな治療の提供が可能となった時代となりました。しかし、高齢糖尿病患者の増加、糖尿病未治療者や治療中断者が後を絶たないこと、さまざまな合併症を抱えた症例の増加など、まだまだ問題が山積しております。個々の病態を評価し、患者さんの生活にリンクした治療を、患者さんと一緒に選択できるように自己研鑽を続け、さらに後輩医師達への教育にも励みたいと思います。

これまでに、「旭川地区糖尿病地域連携パス」に関して、医師会、行政などとも協力しながら、その構築と実践を行ってきました。当院でも引き続き、糖尿病連携手帳の有効活用、そして旭川市内および周辺の医療機関との連携をさらに強化して、効率的な医療機能分化为を改革していきたいと存じます。ぜひ、

連携パスを利用してのご紹介もお待ちしております。多職種連携も今後の医学界には益々重要であり、多分野のスタッフの皆さんとも情報交換・情報共有を行っていききたいと思います。

当院は甲状腺や下垂体・副腎など内分泌疾患も専門性の高い症例を多くご紹介をいただき、たくさんの方が通院されております。各診療科とも連携しながら、診断を導き、適切な治療に結び付けていきたいと思ひます。

さらに17年前に育児をしながらの仕事復帰後は、たくさんの方に支えられ、試行錯誤しながらも仕事を継続することができました。その状況が必要とされるサポートについてプロジェクトを作成するチームに参加し、平成19年には「二輪草センター」が設立され、夢が現実になっていく過程を経験することができました。当初は女性医師や看護師の育児支援や離職率低下などを目標に活動してきましたが、年々ミッションが広がり、学生へのワークライフバランス講義や、男性も含めた職場全体の働き方を改善するための方策が必要な時代になってきております。自分としても医療界の働き方改革の実態を色々と学ぶ機会が増え、日本糖尿病学会でも「女性糖尿病医をpromoteする委員会」で、多様な働き方をサポートするために、学会としてできることを提言し実現してきました。引き続きこれらの活動にも新たな立場で関わっていければと考えております。

この4月から当院糖尿病・内分泌内科医師は4名中3名が新たになり、色々と不慣れなことも多いため、皆様には多方面でお世話になっております。地域の糖尿病・内分泌医療の発展に貢献できるよう、皆で力を合わせて日々の診療を行いたいと思ひますので今後もご指導ご鞭撻をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。



第三消化器内科 部長
石川 千里

このたび、2020年4月1日より第三消化器内科部長を拝命致しました石川千里と申します。私は2002年に旭川医科大学を卒業し、旭川医大第三内科へ入局後、消化管疾患を

専門として旭川市内の病院やオホーツク地方の基幹病院にて診療経験を積んで参りました。旭川赤十字病院には2018年4月から勤務しております。

当院消化器内科は9名の医師が在籍し、肝臓グループ3名、消化管・胆膵グループ6名に分かれて診療を行っております。私はこの中でも、食道・胃・大腸等の消化管疾患診療を担当しております。診療疾患は消化器癌などの悪性腫瘍、胃潰瘍や感染性腸炎・虚血性腸炎・憩室炎などの良性疾患や消化管感染症、クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患等、多岐にわたります。

当科の検査は内視鏡が中心となりますが、2019年度の当科検査件数集計からは、上部消化管内視鏡検査7338件、治療処置約520件、下部消化管内視鏡検査1445件、治療処置約460件と、非常に多くの検査・治療を行っています。消化管癌に関する内視鏡治療としては、早期胃癌や早期大腸癌に対する粘膜切除術(EMR)および粘膜下層剥離術(BSD)を行っております。近年は内視鏡画像診断の進歩

と治療技術の向上によって、早期の段階で発見・治療できる病変も増えており、以前は手術が選択されていたような病変でも、内視鏡治療で完治が得られる病変もあります。また、当院は救急救命センターの併設があることから、緊急内視鏡も多いことが特徴として挙げられるかと思ひます。吐血や下血に対する内視鏡的止血術、腸閉塞に対するイレウス管挿入や大腸癌閉塞症例のステント留置術等も積極的に行っています。

私は、地方の病院に長く勤務していた経験から、医療は1診療科や1病院だけで完結できるとは限らず、病院施設や地域全体で積極的に連携していくことが、よりよい治療方針や解決策をとるのに大切であると考えています。地域医療に少しでも貢献できるよう、これからも努力して参りたいと考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



第二外科 部長
市村 龍之助

このたび令和2年4月1日付で当院外科部長の任を拝命いたしました。

北海道出身(札幌市生まれ、十勝新得町、釧路市、札幌市などで過ごす)、平成7年北大卒、北大第2外科

(現:消化器外科学分野II)入局、北海道大学病院、王子総合病院(苫小牧市)、市立釧路総合病院、北海道消化器科病院(札幌市)、製鉄記念室蘭病院などでの勤務を経て、平成29年より当院に赴任しております。卒後消化器一般外科、呼吸器外科、乳腺外科などの研鑽を積み、10年目過ぎから消化器がんに対する腹腔鏡手術をメインワークとしておりましたが、当院赴任後はまた「心臓、肺を除いて外科領域は結構ほとんどなんでも診る」感じになっております。

道北はこれまで地縁がありませんでしたが、四季折々美しい風景があり、街も暮らしやすく、素晴らしい地域だと感じながら単身赴任で過ごしております。疲れたときは病院の窓から大雪山を眺めリフレッシュし、休日何もないときは趣味のドライブで道北をぶらぶら探索しています(最近新型コロナウイルス流行で自粛していますが)。今年で50歳になりました。外科医で大きな手術を術者として完遂していけるのはあと10年あるかないかといったところでしょうか?

市内や市外各地からご紹介いただいた患者さんの手術が無事終わり退院したあと、ご紹介元の先生宛に紹介状の

返書を送付するのを楽しみとしております。患者さんひとりひとり大切に診療していきたいと思っております。

当院外科ですが現在常勤スタッフ6名で、医局からバックアップをいただきつつ一般外科、救急対応(とくに高エネルギー外傷症例、緊急手術を要するような急性腹症症例が多いです)、消化器がんに対する腹腔鏡/開腹手術(食道、胃、小腸大腸肛門、肝胆膵脾など)、乳がんなど、広範な領域の診療を行っております。昨年度は当科山本医師主導で肥満症に対する減量手術(腹腔鏡下スリーブ状胃切除術)が導入されたように、新しい高度なチーム医療にも取り組んでおります。

これからも地域医療に貢献できるよう、救急対応や良質な医療の提供に尽力していきたい所存です。地域の医療機関の皆様との連携は大変重要だと思っております。何かお困りのことがありましたらいつでもご連絡ご紹介ください。今後ともご協力、ご指導いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



第二脳神経外科 部長
櫻井 寿郎

平素より旭川市内および近隣市町村の医療関係者の皆様には多大なる御支援、御協力を賜り誠にありがとうございます。

このたび脳神経外科第二部長を拝命致しました櫻井寿郎と申します。この場をお借りして新任のご挨拶と簡単な自己紹介をさせていただきます。

私は1993年に旭川医科大学を卒業し母校の脳神経外科に入局後、2012年11月に当院へ入職しました。専門は脳血管内治療で、現在まで脳動脈瘤に対するコイル塞栓術や頸動脈狭窄に対するステント留置術、主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法などに携わって参りました。特にこの数年で新しい治療機器が続々と開発されている急性期血栓回収療法に対しては、当院でもいち早く導入し、その普及に向けて取り組んできました。放射線部をはじめ救命救急センターや脳卒中センターに所属するスタッフの献身的な協力により、この2年ほどの間で院内のプロトコールが着々と整備され、当院搬入から再開通までの時間短縮と患者さんの予後改善への成果が目に見えて形になりつつあります。今後も更なる進化を目指してスタッフ一同、一丸となって取り組んでいく所存です。

また当科は道北地区の脳卒中医療の最後の砦の役割を

担っており、道北ドクターヘリの基地病院でもあるため、近隣市町村からも多くの患者さんが搬送されてきます。そのため以前から院内には脳神経外科医が24時間365日常駐し、迅速な対応が可能な体制となっています。諸先輩から脈々と受け継がれてきたこれまでの歴史と実績を次の世代へ継承していく事も、私に課せられた重要な任務と考えています。

当科の歴代の脳神経外科部長は最近の言葉を借りると“トップナイフ”の方達ばかりですので、血管内治療を専門とする私にとって今回の部長任命は全く予想外であり非常に大きなプレッシャーとなっていますが、牧野院長や瀧澤副院長のお力を借りながら、患者さんにとって最善の結果となるよう全力で職務を全うする心積もりです。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



新任医師のご紹介



救急科 大友 元

- 出身地/茨城県
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/

微力ながらお力になれたらと思います。よろしくお願いします。



糖尿病・内分泌内科 安孫子 亜津子

- 出身地/札幌市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/フィギュアスケート観戦、ピアノ

糖尿病や内分泌の患者さんでお困りの時は、お気軽にご相談・ご紹介ください。Let's cooperate!



糖尿病・内分泌内科 辻 賢

- 出身地/東京都
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/旅行、ドライブ、温泉

症状に合った適切な医療を提供を目指しています。何卒宜しくお願いします。



糖尿病・内分泌内科 佐々木 彩華

- 出身地/旭川市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/旅行、グルメなど

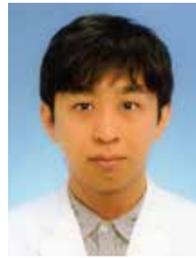
今年度から旭川赤十字病院で糖尿病内分泌内科医(5年目)として働かせていただいています。よろしくお願いします。



脳神経外科 小野寺 康暉

- 出身地/東京都
- 出身大学/筑波大学
- 趣味/格闘技観戦

埼玉医科大学国際医療センター所属ですが、勉強する機会を頂き嬉しく思います。お役に立てるよう精進いたします。



脳神経内科 水島 慶一

- 出身地/札幌市
- 出身大学/北海道大学
- 趣味/読書

皆様のお役に立てましたら幸いです。



脳神経内科 穴田 麻真子

- 出身地/札幌市
- 出身大学/岩手医科大学
- 趣味/ピアノ

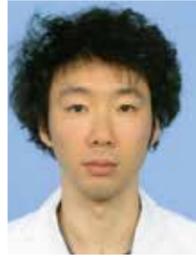
神経内科医としてスタートしたばかりで不慣れな点もありますが、どうぞ宜しくお願いいたします。



総合診療科 関谷 千尋

- 出身地/札幌市
- 出身大学/北海道大学
- 趣味/テニス

24年ぶりとなる旭川での診療です。患者に寄り添った、今出来る診療に心がけるつもりです。



呼吸器内科 佐藤 亮

- 出身地/小樽市
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/スポーツ観戦

呼吸器疾患でお困りな事があればご紹介下さい。よろしくお願いします。



麻酔科 佐藤 帆奈美

- 出身地/旭川市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/音楽(バンド活動)

様々な形でお世話になることが多々あるかと思えます。よろしくお願いします。



麻酔科 落合 弦

- 出身地/熊本県
- 出身大学/横浜市立大学
- 趣味/NBA

精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。



麻酔科 田中 亮圭

- 出身地/美幌町
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/筋トレ

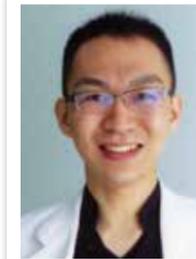
まだまだ経験不足で迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします。



整形外科 津村 淳一

- 出身地/帯広市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/スキー

精一杯がんばります。よろしくお願いします。



整形外科 岡安 浩宜

- 出身地/深川市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/ランニング、釣り

まだまだ未熟な身ではありますが、地域に貢献できるよう尽力いたしますので、宜しくお願い申し上げます。



皮膚科 斉藤 剛史

- 出身地/埼玉県
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/散歩

一生懸命がんばりますので、よろしくお願いいたします。



泌尿器科 伊與木 貴也

- 出身地/旭川市
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/読書、お菓子作り

よろしくお願いします。



泌尿器科 小林 元気

- 出身地/青森県弘前市
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/スポーツ(球技)、お酒

いろいろとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



放射線科 緒方 美季

- 出身地/北見市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/キャンプ、ゲーム

若輩者ですが、何卒よろしくお願いいたします。



消化器内科 宮澤 佑貴

- 出身地/札幌市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/テニス

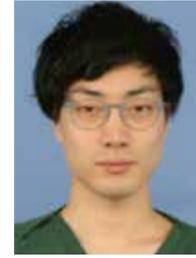
全力で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科 井垣 勇祐

- 出身地/札幌市
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/旅行

皆様のお力添えをいただき、日々診療に努めていきます。未熟者ではありますが、宜しくお願いいたします。



循環器内科 大友 俊作

- 出身地/旭川市
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/

地元である旭川の医療に貢献できるよう、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

臨床研修医のご紹介



池田 健太

- 出身地/札幌市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/旅行、ミュージカル鑑賞

皆様のお役にたてるよう精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



石川 楓

- 出身地/旭川市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/読書・ピアノ・パン屋さんめぐり

積極的に学び、充実した2年間を過ごせるよう精進したいと思います。ご指導よろしくお願い申し上げます。



石黒 達也

- 出身地/札幌市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/テニス、釣り

旭川赤十字病院1年目の石黒達也と申します。至らぬ点多々ございますが、精一杯努力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



長安 健

- 出身地/千葉県習志野市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/バイオリン演奏、ダンス、スキー、スノーボード、野球観戦

初心を忘れず、貪欲に日々精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



山崎 前穂

- 出身地/東京都大田区
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/乗馬、ドラム演奏

少しでも地域の皆様のお役にたてますよう志を高くもって日々精進して参りたいと思います。



関 宏樹

- 出身地/愛知県豊田市
- 出身大学/北海道大学
- 趣味/ランニング、スキー

ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、皆様のお役に立てるよう努めて参ります。



伏津 建太郎

- 出身地/札幌市
- 出身大学/北海道大学
- 趣味/スポーツ観戦

少しでも多くのことを学び、役立てるよう精進してまいります。よろしくお願い申し上げます。



古川 貴啓

- 出身地/北海道
- 出身大学/北海道大学
- 趣味/バドミントン、サッカー観戦

1日1日を大切に勉強してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



白井 亮汰

- 出身地/千葉県
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/テニス、ダーツ

楽しみながら学び、貢献できるようなりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



関口 柚史

- 出身地/神奈川県横須賀市
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/旅行、剣道

初期研修の二年間で多くを学び、少しでも皆さんのお力になれるよう精進していきます。よろしくお願い申し上げます。



矢田 大智

- 出身地/三重県伊勢市
- 出身大学/大阪大学
- 趣味/写真

旭川日赤で研修医となりました矢田です。地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯努力します。



佐藤 淳一

- 出身地/札幌市
- 出身大学/札幌医科大学
- 趣味/地図を見ること、散歩

1日でも早く皆さまと共に医療で貢献できるよう努力したいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



菅井 博達

- 出身地/旭川市
- 出身大学/旭川医科大学
- 趣味/旅行、映画鑑賞

誠心誠意頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



鈴木 陶磨

- 出身地/神奈川県
- 出身大学/島根大学
- 趣味/野球

初期研修医として今年1年間旭川赤十字病院でお世話になります。ご指導の程、宜しくお願いいたします。



石井 彩華

- 出身地/旭川市
- 出身大学/北海道大学
- 趣味/カラオケ、温泉巡り、グルメ

この1年で医療者としてのみならず人間としても成長できるように頑張ります。至らない点が多々あると思いますが、ご指導よろしくお願い申し上げます。

人事消息

令和2年3月31日付退職医師

副院長 森川 秋月	糖尿病・内分泌内科部長 森川 裕子	糖尿病・内分泌内科 池知 佑太	脳神経外科 土屋 亮輔	脳神経外科 小泉 博靖
病理 田上 洋平	健診部 吉田 征子	第一救急科 阿部 恵	脳神経内科 田中 大貴	呼吸器内科 萬谷 峻史
麻酔科 山本 明日香	麻酔科 長谷川 源	麻酔科 高橋 可南子	整形外科 奥原 一貴	整形外科 高木 健一
整形外科 齋藤 千里	皮膚科 菅原 基史	泌尿器科 萬谷 和香子	消化器内科 柳原 弘明	循環器内科 清水 将輝
外科 窪田 武哲	臨床研修医 秋山 采慧	臨床研修医 荒嶽 達也	臨床研修医 大岩 慧	臨床研修医 栗原 聖治
臨床研修医 小北 篤史	臨床研修医 三澤 隆一	臨床研修医 山田 真司	臨床研修医 吉川 修平	臨床研修医 九里 優輝
臨床研修医 竹元 小乃美	臨床研修医 鈴木 優花			

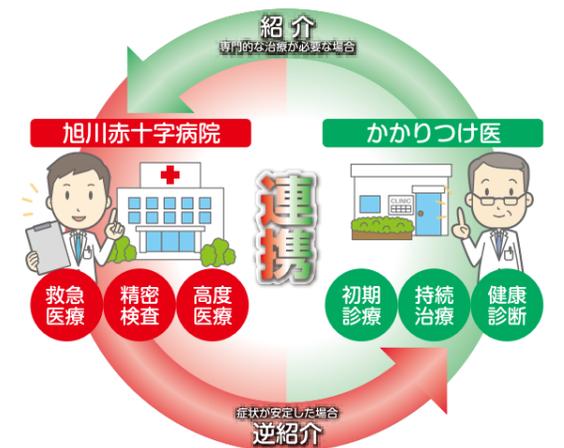
医療支援センター ～地域医療連携室～のご紹介

当院の医療支援センターは入院前から退院支援に向けての対応をはじめ退院後の支援も一元的に実施すること、入院退院を繰り返す患者さんが安心して在宅療養ができるサポート体制をつくるために入院支援センター・退院支援室・相談室が統合され入院支援室、地域医療連携室、訪問看護ステーションの3つの部署から組織されています。

地域医療連携室は2018年4月より室長として看護師長が配置され、事務職員7名と業務を行い、当院が地域医療支援病院の役割を果たすべく、かかりつけ医である開業医の皆様、地域の医療機関と連携を図り、急性期医療を中心に質の高い医療を提供し、地域医療に貢献すべく、その対応窓口としての業務を行っております。

今後も地域の医療機関並びに地域住民の皆様のご期待に沿えるよう努力する所存でございますので、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
(地域医療連携室長 篠田 珠美)

旭川赤十字病院は 「かかりつけ医」と 協力・連携して地域医療を支えています。



地域全体で患者さまの健康管理を行えるように、そして必要ときに適切な医療を安心して受けられるように、当院は地域医療の役割分担を推進しています。